

株式会社アメイズ

市場	福証(本則)	主要業績数値	2011/11	2012/11	2013/5
上場承認日	2013/7/9	(単位:百万円)	(直前々期)	(直前期)	(申請期)
上場予定日	2013/8/13	売上高	7,351	8,505	4,407
主幹証券	大和証券	営業利益	341	861	780
監査法人	トーマツ	経常利益	199	710	709
URL	http://www.kamenoi.com/	当期利益	108	414	446
証券コード	6076	総資産	19,042	18,997	18,748
設立年月	1924年11月	純資産	2,666	2,958	3,199

●事業内容 (セグメント別・商品別。特に記載しない限り、数値は直前期。単位:百万円)

セグメント別情報	売上高				営業利益		①直営・FCによるホテル施設の運営。併設したファミリーレストランによる飲食店舗運営。 ②ホテル施設とは独立した、館外における、飲食店舗の運営。 ※単一セグメントのためセグメント利益開示なし
	直前期	構成比	申請期	構成比	直前期	申請期	
① ホテル宿泊事業	7,960	93.6%	4,145	94.1%	—	—	
② 館外飲食事業	545	6.4%	261	5.9%	—	—	
合計	8,505		4,407		861	780	

- ・ 同社は、明治44年大分県別府市に創業した亀の井旅館を基礎として大正13年に創立され、宿泊及び貸席・宴会のためのホテル施設の営業と附帯するレストランの運営等の飲食提供を行っている。
- ・ 一般に、ビジネスホテルが集中するターミナル駅や飲食・歓楽街のそばでなく、都市部と郊外のボトルネックに位置する幹線道路沿いや中小規模駅の競合ホテルの少ない(あるいは無い)地域を中心に店舗展開し、「亀の井ホテル」29店舗(直営)、「HOTEL AZ」2店舗(直営)、「亀の井イン」3店舗(FC)を運営している。

●財務諸表より (特に記載しない限り、数値は直前期。単位:百万円)

	701	仕入債務	126		直前々期	直前期	申請期
現預金	701	仕入債務	126				
営業債権	119	営業債務	454	粗利率	83.3%	84.2%	84.3%
たな卸資産	39	有利子負債	14,630	営業利益率	4.6%	10.1%	17.7%
有形固定資産	17,519	未払税金	473	経常利益率	2.7%	8.3%	16.1%
資産合計	18,997	負債合計	16,039	当期利益率	1.5%	4.9%	10.1%

- ・ 総資産約190億円のうち、92.2%にあたる175億円が有形固定資産。大半がホテル設備であり、29店舗169億円(店舗平均5.8億円)がこれにあたる。その他は現預金7億円など。
- ・ また、有利子負債もこれに対応して146億円と、多額に存在する。借入には財務制限条項が付されているが、その中に「借入金残高÷(営業利益+受取利息+配当金+減価償却費)が2期連続で10以上とならないこと」という条項がある。
- ・ 同社がFC契約を締結している(株)ジョイフルは、代取と専務の近親者等が保有する企業で関連当事者に該当する。同社は、ジョイフルと食材仕入333百万円及びロイヤリティ支払555百万円の取引が生じている。また、直前々期末には、同社は、代取及び専務から合計16.8億円の借入の借入を行っていたようである。

●その他 (リスク情報、株式公開情報等より)

株主構成 (千株)	IPO前				IPO後				資金調達(目論見書発行価格)	
	議決権		潜在込		議決権		潜在込		公募調達額	898
創業者	1,866	30.2%	1,866	30.2%	1,866	25.2%	1,866	25.2%	売見込額	0
創業者一族	3,889	62.8%	3,889	62.8%	3,889	52.4%	3,889	52.4%	時価総額	5,415
専務一族	152	2.5%	152	2.5%	152	2.1%	152	2.1%	役員構成	
従業員、従持会	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	取締役	6
VC	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	(うち社外)	(0)
その他株主	281	4.5%	281	4.5%	1,511	20.4%	1,511	20.4%	監査役	3
合計	6,187		6,187		7,417		7,417		(うち社外)	(3)

- ・ 調達予定額は8.6億円。全額を、店舗開設に伴う敷金及び附属設備購入等に充当予定。
- ・ 代取及び親族(2親等以内でなくとも同じ「穴見」姓を含め、合計16名)で、議決権の9割超を保有している。残りのうち、専務とその親族(4名)で2.5%と双方の関係者で、議決権のほぼ全てを保有している。
- ・ 直前々期に、100株を1株とする株式併合を行ったのち、生じた端株を専務が株主48名からまとめて買い取っている。また同時期に「失権者端株の買取」として、41名の株主からの端株買取を、これも専務が行っている。歴史のある企業だけに、連絡が取れなくなった少数株主対策として、株式併合を用いた処理を行ったのだろうか。なお、その後申請期に1株を15株とする株式分割を行っている。

©(株)アカウンティング・アシスト(無断転載禁止) URL: www.accounting-assist.com E-mail: info@accounting-assist.com

※ご留意事項

本書は証券取引所のサイトにアップされた「上場申請のための有価証券報告書(Ⅰの部)」など、一般的に公表された情報を基に、新規上場予定企業の概要をお伝えすることを目的として作成しております。内容の一部作成者の私見が含まれることがありますが、投資行動への指図や投資勧誘を目的としたものではありません。また本書の作成誤り・事実誤認等により利用者に経済的損害が生じた場合も、これを補填する義務は一切存在しませんので、予めご了承ください。